

図 4

全身管理・在宅歯科治療研修に関連する質問(問 12)への解答(施設群による比較、平成 22 年度)

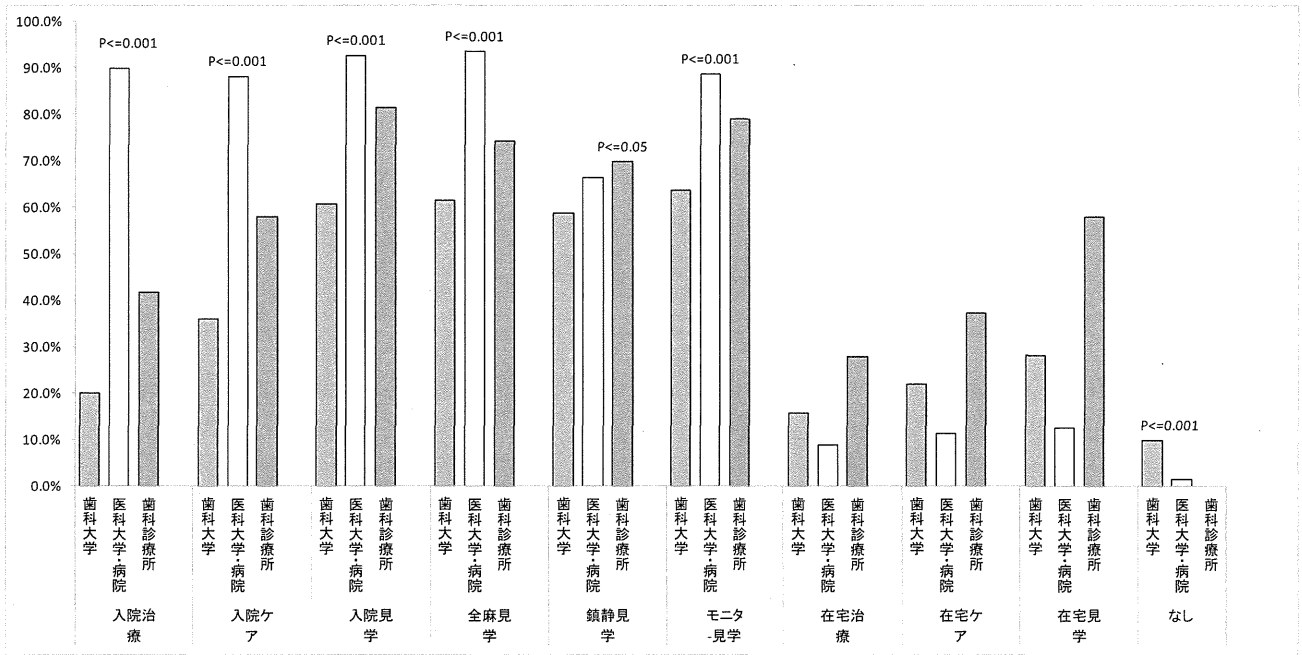


図 5

全身管理・在宅歯科治療研修に関連する質問(問 12)への解答(施設群による比較、平成 23 年度)

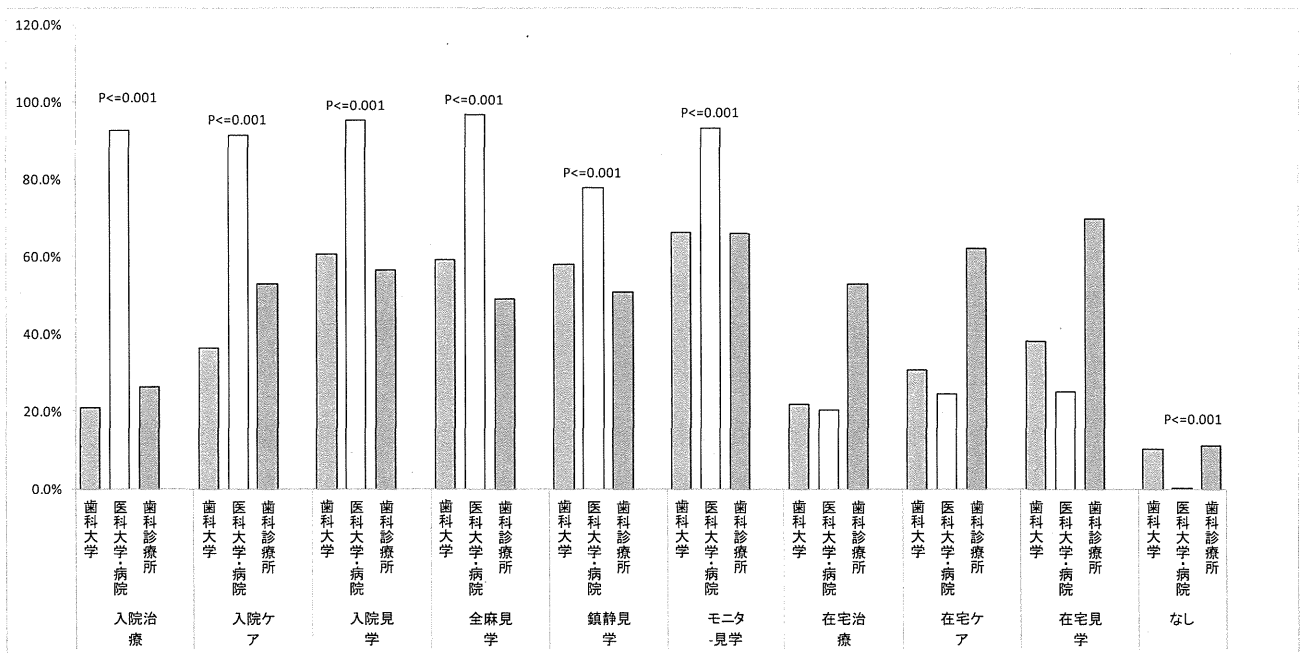


図 6

参加したチーム医療に関する質問(問 13)への解答(年度による比較)

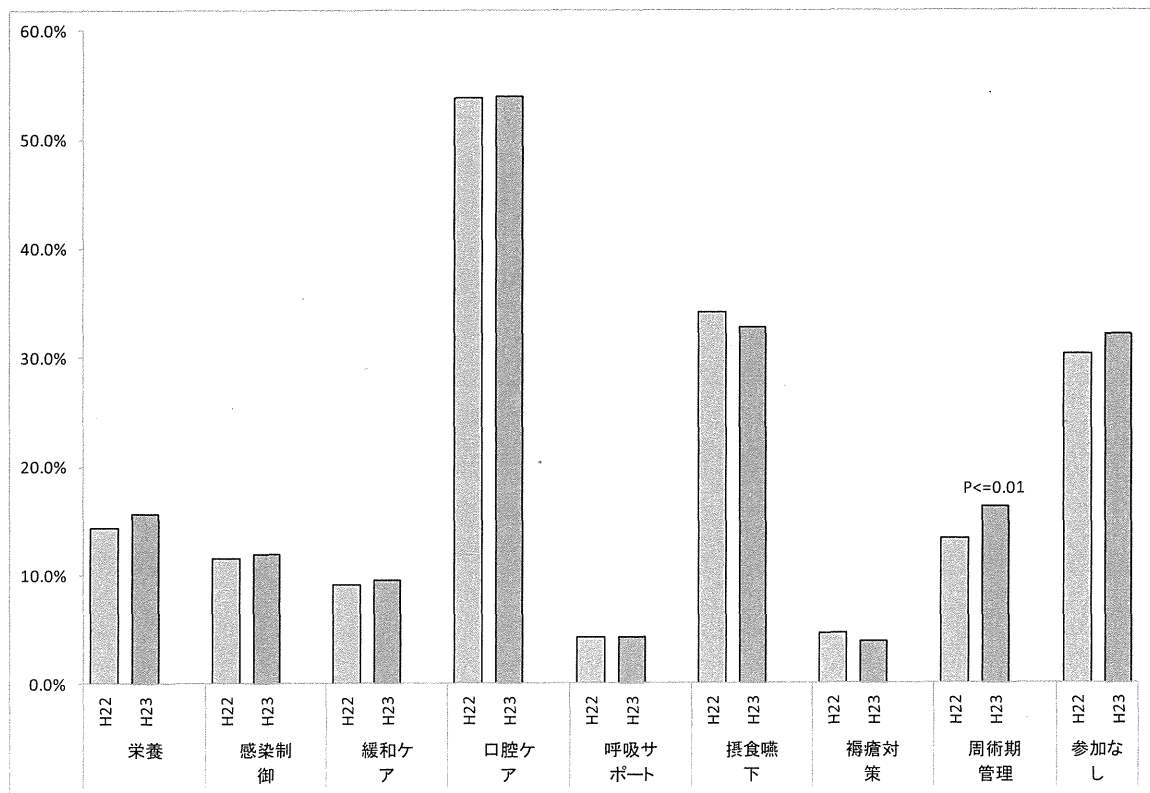


図 7

参加したチーム医療に関する質問(問 13)への解答(研修機関属性による比較、平成 22 年度)

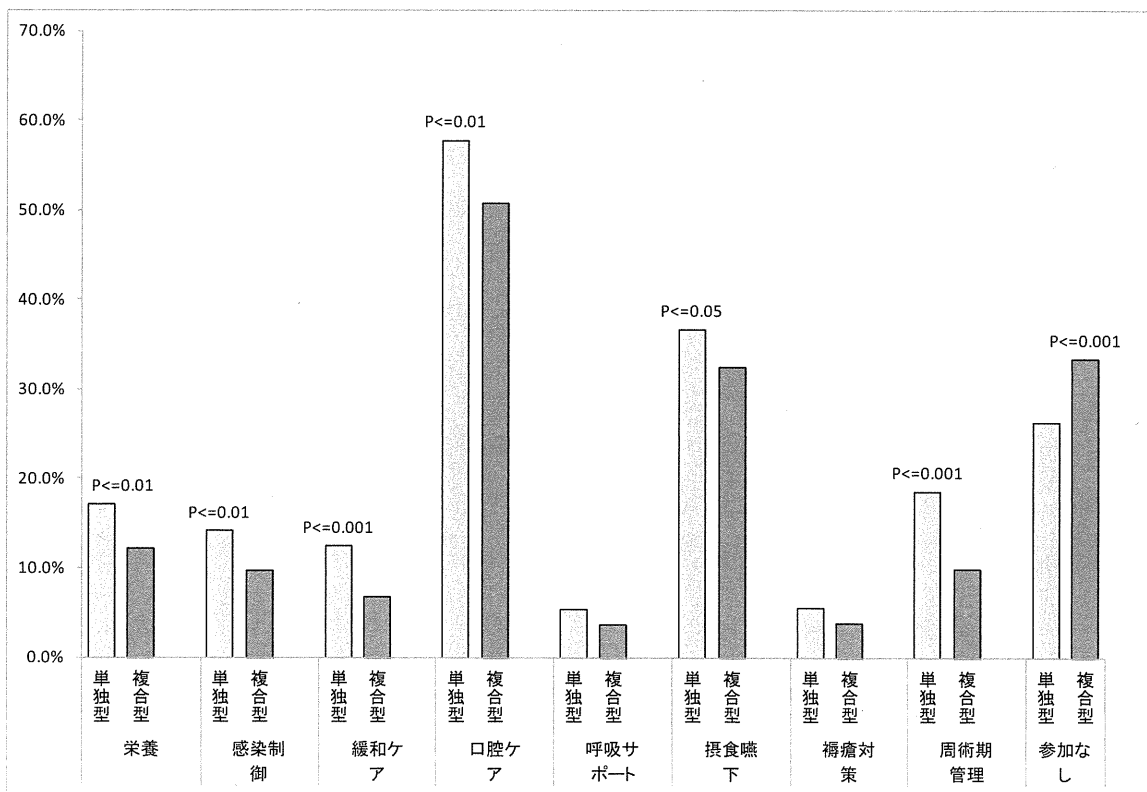


図 8

参加したチーム医療に関する質問(問 13)への解答(研修機関属性による比較、平成 23 年度)

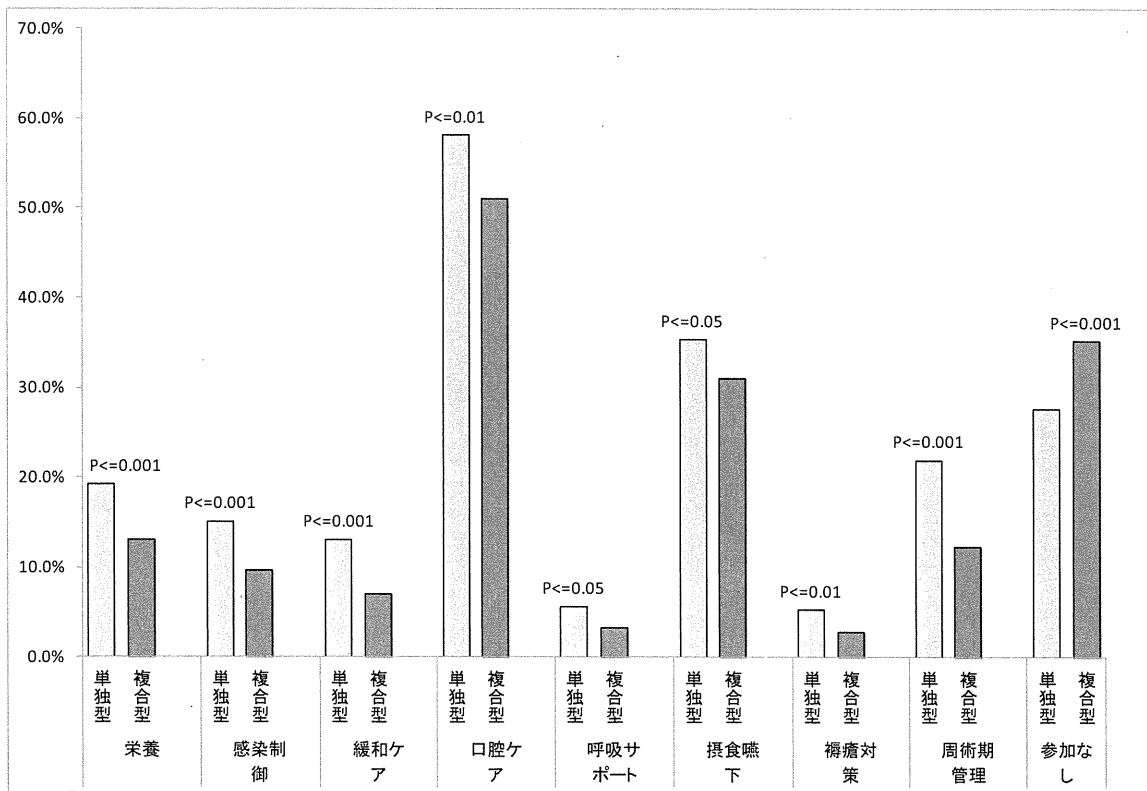


図 9

参加したチーム医療に関連する質問(問 13)への解答(施設群による比較、平成 22 年度)

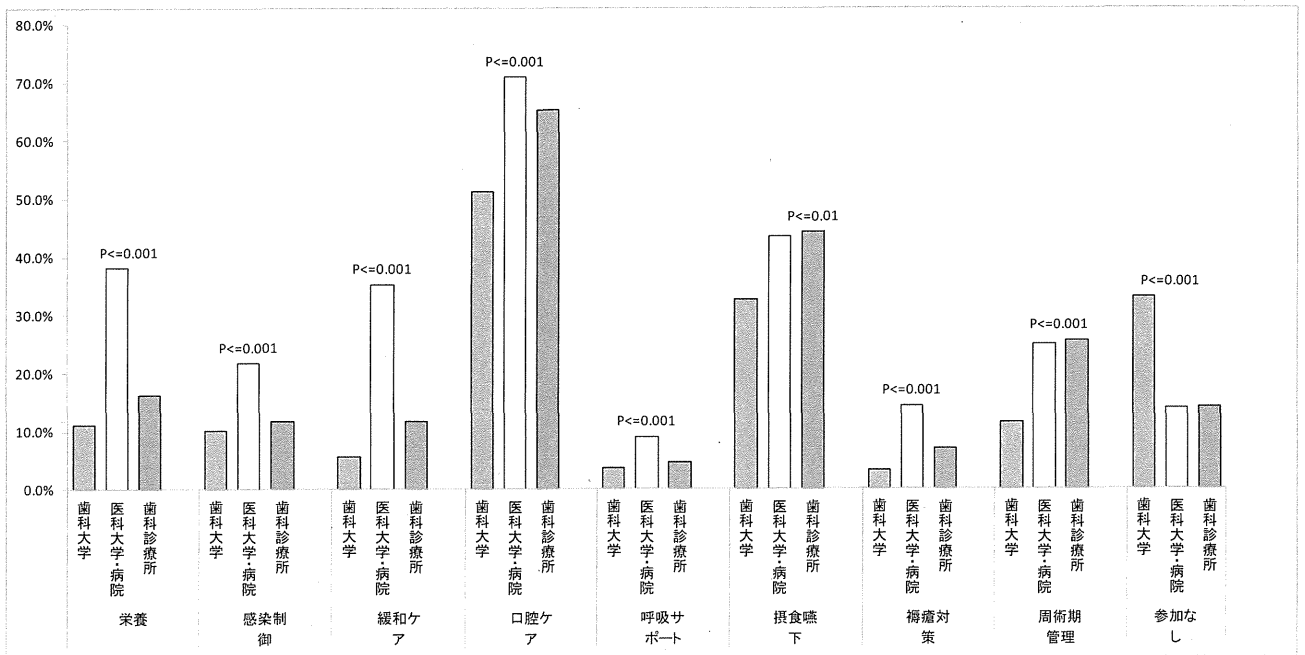


図 10

参加したチーム医療に関連する質問(問 13)への解答(施設群による比較、平成 23 年度)

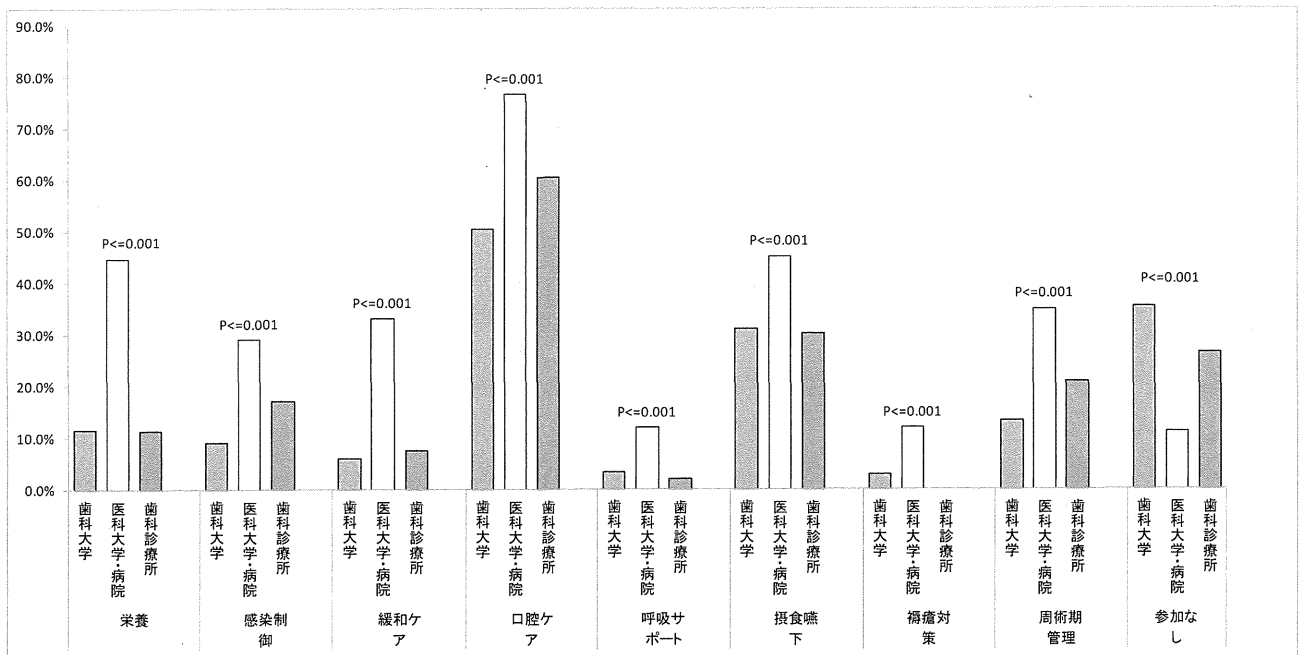


図 11

チーム医療で連携した職種(問 14)への解答(年度による比較)

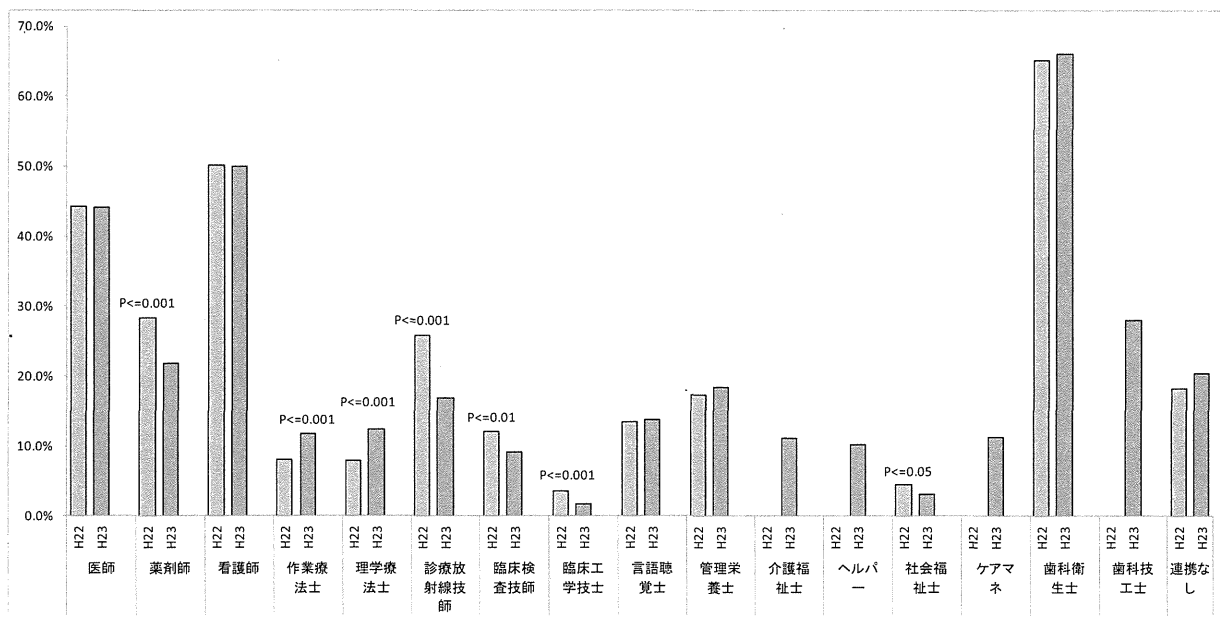


図 12

チーム医療で連携した職種(問 14)への解答(研修機関属性による比較、平成 22 年度)

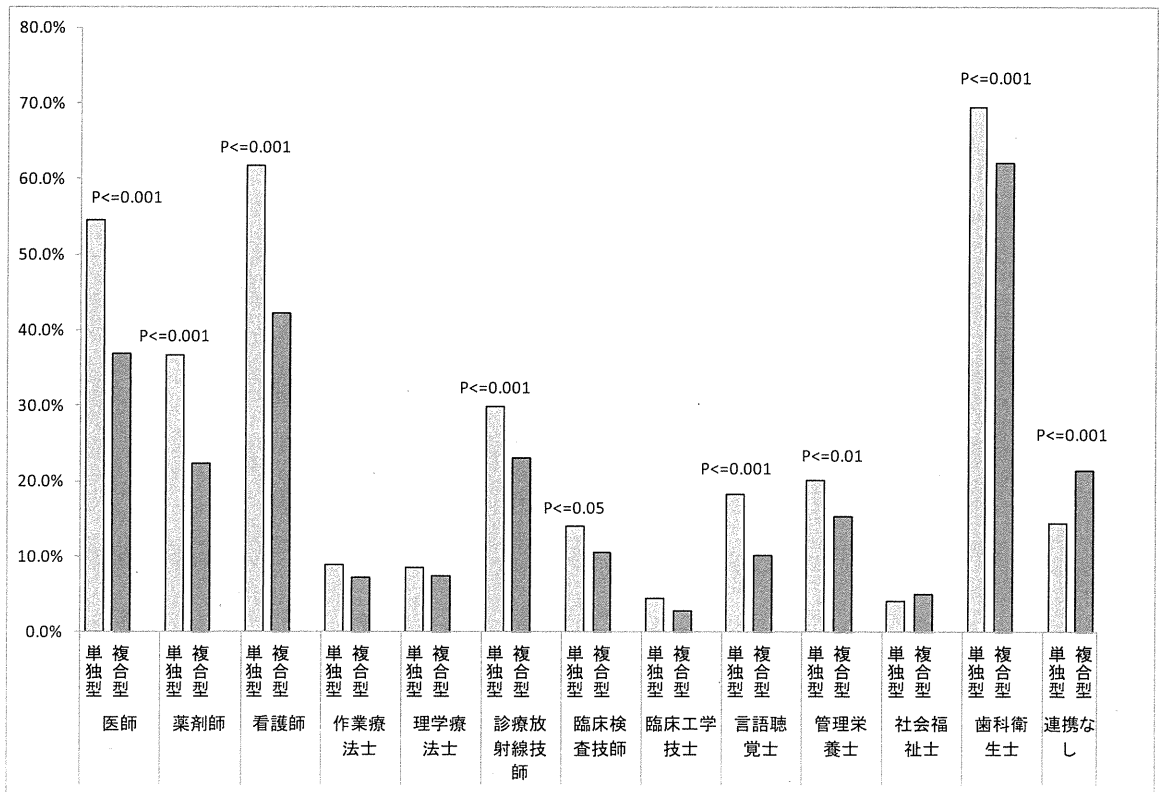


図 13

チーム医療で連携した職種(問 14)への解答(研修機関属性による比較、平成 23 年度)

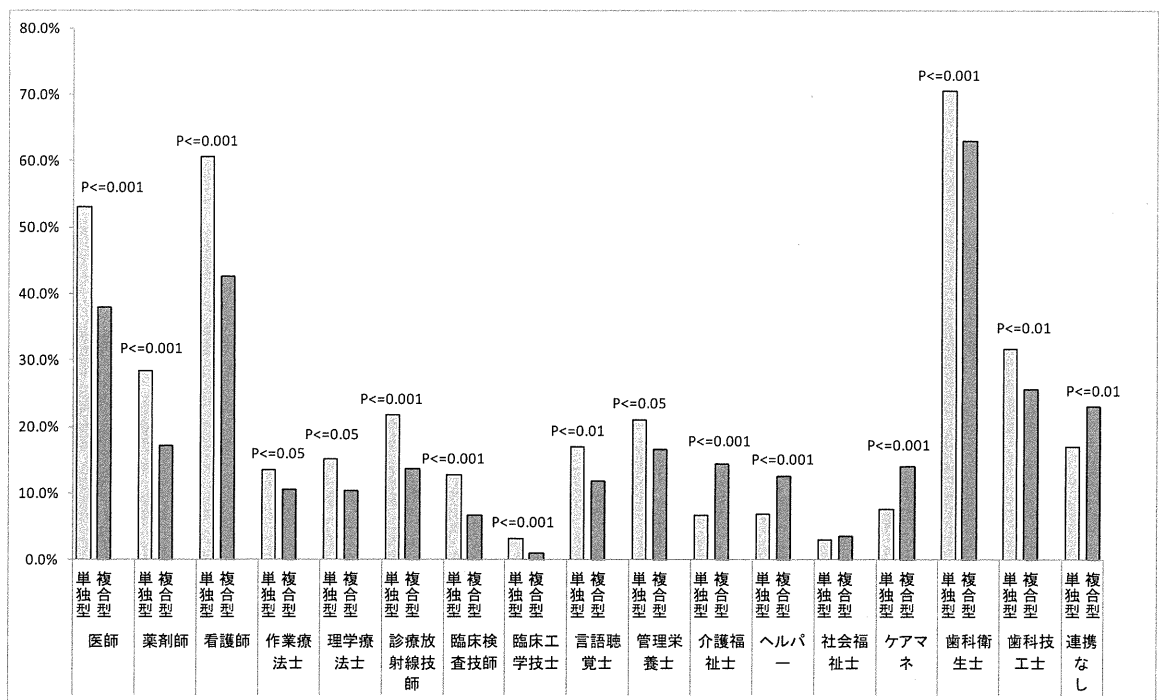


図 14

チーム医療で連携した職種に関する質問(問 14)への解答(施設群による比較、平成 22 年度)

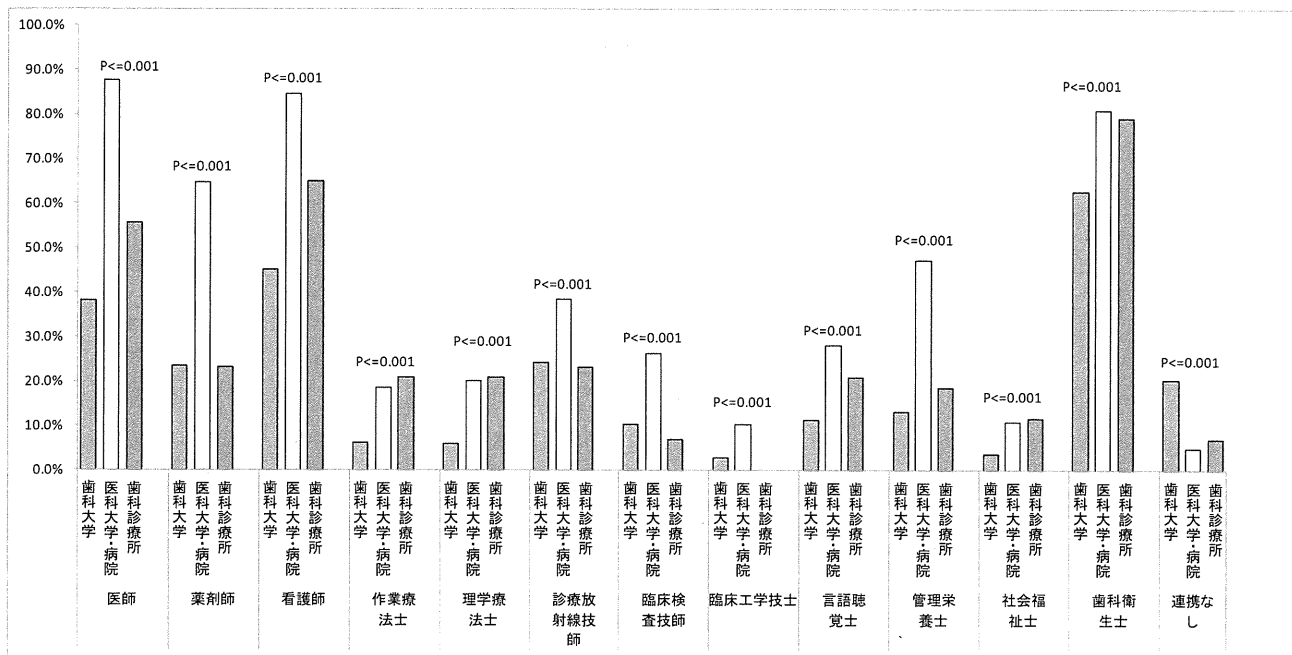
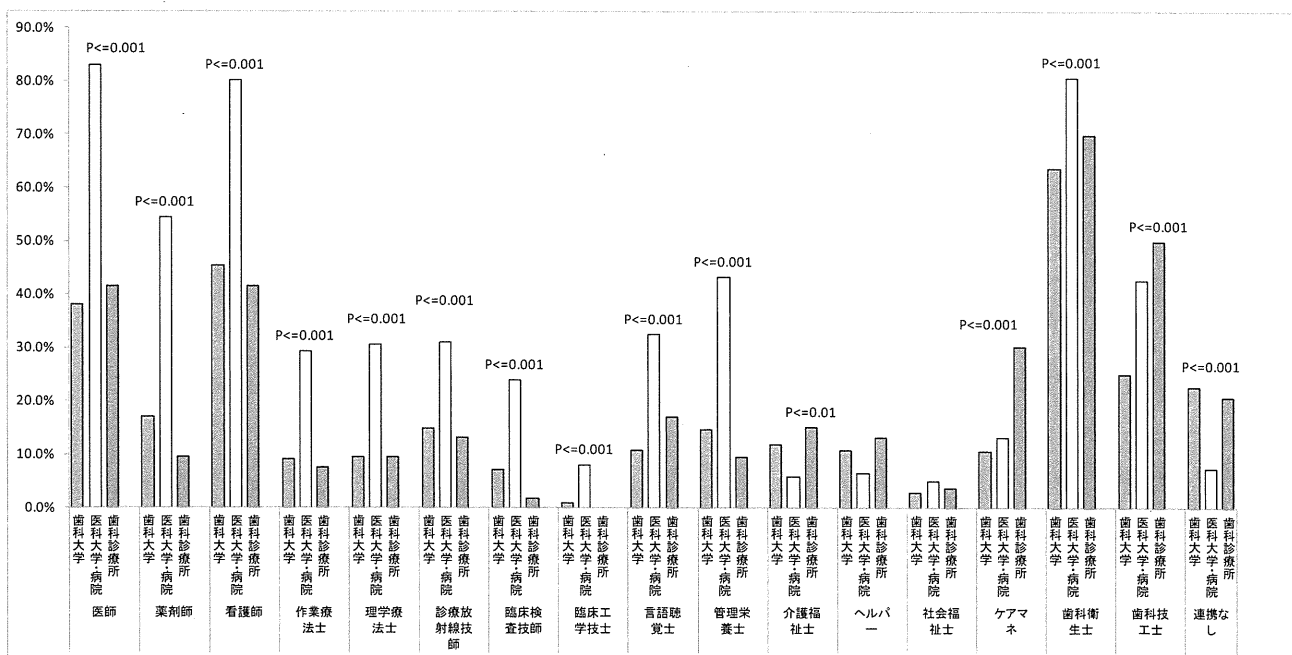


図 15

チーム医療で連携した職種に関する質問(問 14)への解答(施設群による比較、平成 23 年度)



歯科臨床研修における研修歯科医の実態把握・検証等に関する研究
—子育て支援について—

研究分担者 高橋一輝（東京医科歯科大学医員）

研究協力者 新田浩（東京医科歯科大学准教授）

大渡凡人（東京医科歯科大学准教授）

研究要旨：平成 18 年度に歯科医師臨床研修は必修化された。他方、社会は高齢化の一途を辿り、少子高齢化は歯科医療にとっても重要な項目である。核家族化、少子化や、女性歯科医師の増加も相まって、医療という業界における子育て支援も人材確保の観点から重要項目である。そこで、厚生労働省が臨床研修修了者に対象に行ったアンケート結果をもとに、臨床研修における子育て支援について検討を行った。調査項目は、育児休暇、勤務先への要望の 2 点である。育児休暇に関しては、男性の休暇取得に対する意識が意外に高いこと、勤務先への要望としては、子どもの急変時の休暇等の対応が最も多いことなどが分かった。

A. 研究目的

平成 18 年度の歯科医師臨床研修必修化された。他方、社会は少子高齢化が進行し、歯科医療においても、この問題に対し対策を講じる必要がある。臨床研修段階で、有病高齢者の歯科診療の実態、在宅診療の経験の充実は、歯科が高齢社会に貢献する一端になると思われる。

また、女性歯科医師の増加や子育てに参加する男性歯科医師の数の増加により、研修機関における子育て支援は就業の継続のためにかかせないものといえる。

そこで、厚生労働省が臨床研修修了

者に対象に行ったアンケート結果をもとに、研修歯科医の有病高齢者の歯科診療や在宅診療に対する研修の実態、子育てに対する意識について検討を行った。

B. 研究方法

1. 対象および調査期間

平成 22 年度および平成 23 年度末に歯科医師臨床研修を修了した歯科医師を対象として厚生労働省が行った調査の結果から、次項の質問項目を抽出し、匿名化されたデータの集計を行った。

2. 質問項目

抽出した質問項目は以下の3つとした。

- ① 育児休暇に対する希望
- ② 勤務先への要望
- ③ 子育て支援に関するフリーコメント

3. 方法

①育児休暇、②勤務先への要望ともに、H23年度の厚生労働省の研修終了時のアンケートをベースに検討を行う。H23年度の男女全体の結果とH22年度の差を比較し、経年による研修機関の子育て支援の充実、研修医の意識の変遷がないか検討した。また、各設問ともに、H23年度で男女別に結果を集計し、比較検討することで、男女間の子育て支援に対する意識や考え方の差を考察した。

(倫理面への配慮)

本研究における調査は、厚生労働省から得た情報を用いて行ったものである。提供された資料は、個人情報に含まれておらず、また、連結不可能匿名化されている。なお、調査結果は統計値のみを公表することとし、資料の取扱については十分な注意を払って実施した。

C. 研究結果

1. 育児休暇

(質問)

あなたは子供が生まれて乳幼児の間、育児休暇を取ることにについてどのように

お考えですか。

次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- 01 仕事への復帰等の条件が合えば取りたい
- 02 取りたい(01以外)
- 03 取らなくてもよい
- 04 わからない
- 05 その他

2. 勤務先への要望

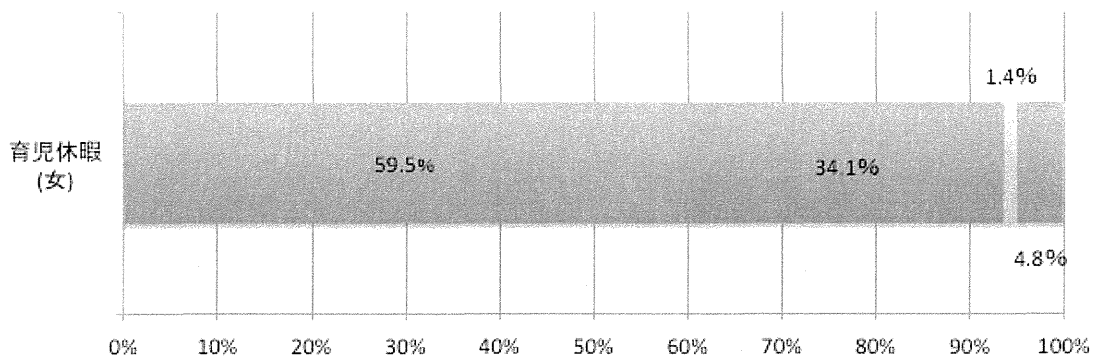
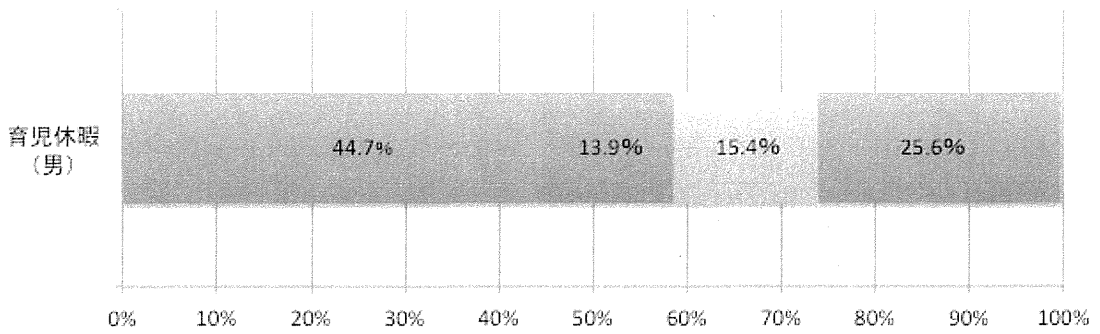
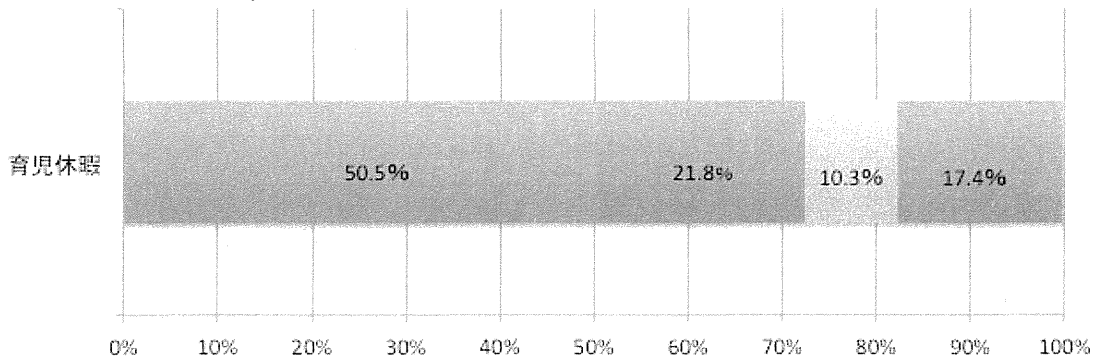
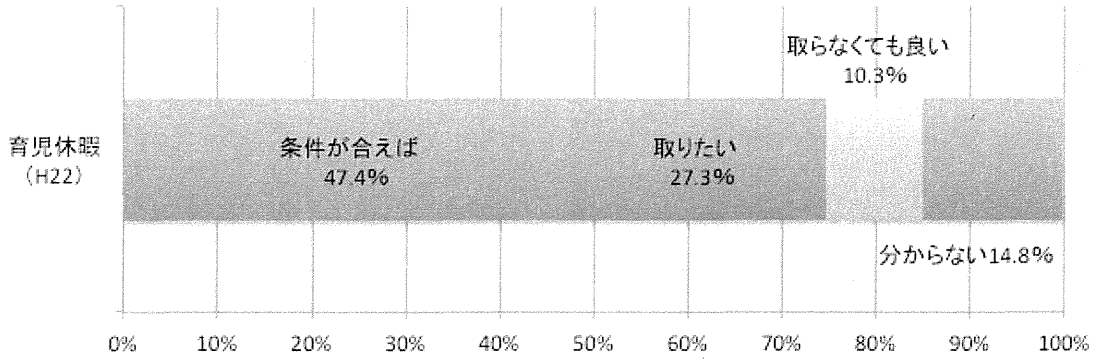
(質問)

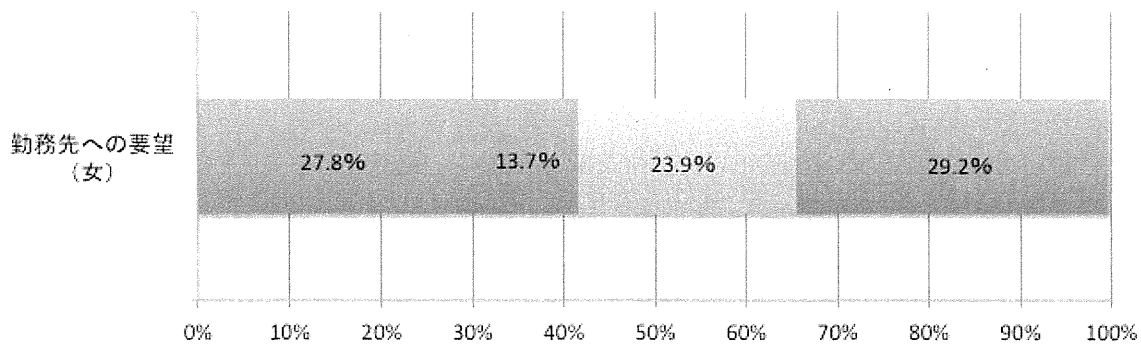
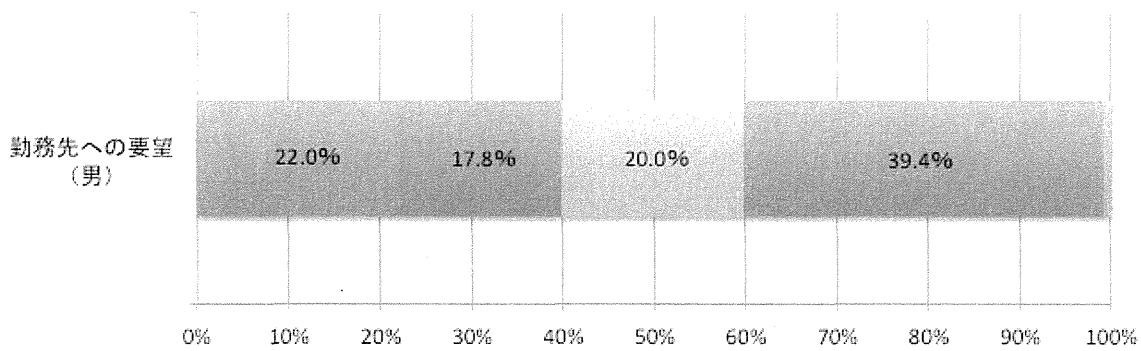
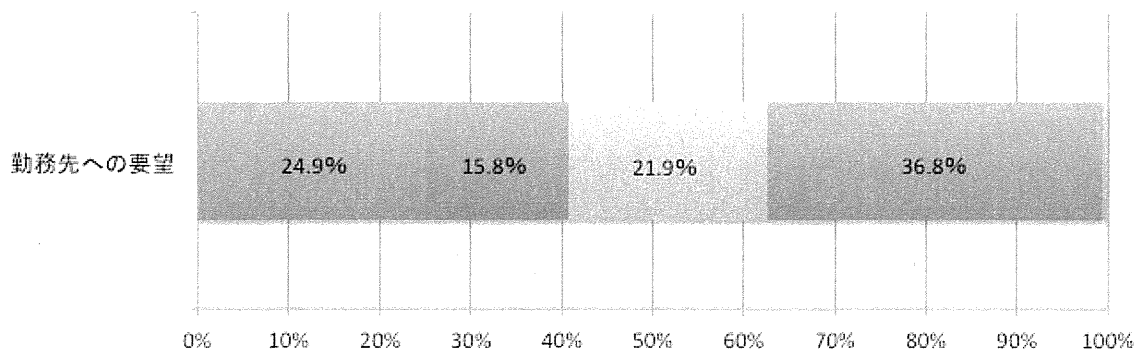
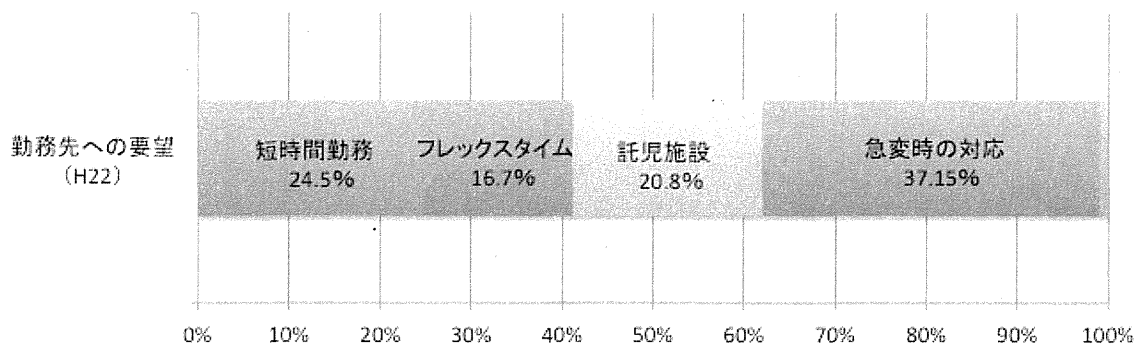
あなたは子どもが乳幼児期の間、子育てをしながら勤務を続ける上で、勤務先にもっとも設置してほしいものはどれですか。

次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- 01 短時間勤務制度
- 02 フレックスタイム制度
- 03 勤務先に託児施設がある
- 04 子どもの急変時に休暇が取りやすい
- 05 その他

※各設問とも結果の表は次ページ以降に示す





・子育て支援に関するフリーコメント一覧

- 「働く日数を減らせる制度の創出」
- 「週休2日制の確保」
- 「歯科医院のスタッフの理解」
- 「看護師配備の託児所の創設」
- 「有給の取得しやすい雰囲気」
- 「シッターの派遣等の整備」
- 「育児休暇の延長」
- 「周囲の理解」
- 「患者を優先すべき、休むのはおかしい」

D. 考 察

1. 育児休暇

全体として、H22年度とH23年度では顕著な差はなく、「条件が合えば取りたい」「取りたい」を合わせて70%を超える結果となった。全体的に育児休暇を取ることに対して積極的なことが分かる。

一方、H23年度で男女の違いを検討したところ、女性は「条件が合えば取りたい」「取りたい」を合わせて90%を超える結果であったが、男性は「条件が合えば取りたい」「取りたい」を合わせて60%に満たない結果となった。男女のキャリアと子育てへの考え方の違いは存在するようである。もっとも、60%に満たないとはいえ、50%を超える男性が育児休暇取得に対して積極的なことは意外な結果となった。他職種や、過去のデータ等があれば今後比較検討し、男性の育児に対する考え方の変遷を検討する価値がある。

また、他に注目したいのは、男性の回

答で「わからない」が25%以上あったことである。子育てに対し、女性は事前にある程度の考えを構築しているが、男性はそうでない者が比較的多いということが分かる。もっとも、これは一般的にも言われていることであり、歯科医療従事者に限ったことと断定できないため、他職種との比較なども今後は検討事項である。

さらに、歯科医師がどのような職種のパートナーと婚姻するのか、婚姻関係の継続、離婚状況やその原因などを明らかにし育児休暇の問題と絡めて考えることで、教育や制度の面において対策を講じやすくなるものと思われる。人的資源の確保のために今後の課題といえる。

2. 勤務先への要望

H22年度とH23年度の全体の比較では、顕著な差は見られなかった。両者とも要望としてもっとも多いのは、「急変時の休暇」であり、病児保育施設等が充実していない現状を研修医も理解しているようである。歯科は、医科と異なり予約制を主としている場合が多いという特殊性がある。歯科医師が突然休暇をとることで医療機関に与える負債と労力は大きく、歯科医師側もその点に関してのプレッシャーは少なくない。病児保育施設や、子供の急変時への対応に積極的な医療機関に補助を行うなど制度面の充実が重要となるだろう。また、医療機関に併設する託児所が、病児や病後児に対応していない場合も多く、使う側のニーズと合致しているのか今後検討が必要となる。

男女間の比較では、女性は男性よりも「短時間勤務」や「託児施設」の充実を望んでいる。男女間で、ライフワークバランスに差があることも分かる。

3、子育て支援フリーコメント

フリーコメントでは、①環境面、②周囲との関係、に関するコメントがみられた。

環境面では、休日の取り方や、育児休暇の期間など休暇面での要望、託児所等への看護師の配備等の設備面での要望があった。研修という性質上、研修期間での休暇の増加や、フレキシブルな休暇の取得はなかなか難しい現状はあるが、研修終了後の歯科医師の働き方として、常勤先の育児休暇に対し、有効な補助制度を作るなどすれば、休暇の要望に対して対応できるかもしれない。また、研修期間中でも、週休の取り方は研修先によって差があるようである。この点の是正も今後の課題といえる。

周囲との関係では、子育てに対する周囲の理解を求める声が多くみられた。一方、歯科医師である以上、自己犠牲が必要という意見もみられ、研修医の中でも意見が分かれるようだった。前述したように事前予約を前提とする現代の歯科診療において、歯科医師の休暇が診療に与える影響は大きい。1人の親として尊重されるべき部分と、歯科のチームリーダーたる歯科医師の責任との衡量をどのように行い、どのように仕事をしていくべきか、子育てをしやすい環境整備と並行して、歯科医師個人の考え方を構築するための卒前・卒後教育が必要だと思われる。

E. 結論

男女で差はあるものの、臨床研修歯科医は育児休暇取得に対し積極的な傾向があり、子育て中の要望として、急変時の休暇等の対応や託児施設の充実を考えている者が多かった。男性の育児休暇取得の希望は、女性よりも少ないものの、過去の日本社会の傾向からすると意外なほどに多かった。

研修が必修化されたことで、研修先医療機関が、歯科医師としての第一歩となる歯科医師がほとんどである。今後も研修先医療機関の設備や育児参画の制度面の充実とともに、学生や研修医時分からライフワークバランスに対する教育も充実させていく必要がある。

F. 参考文献

1. 永野和子，稲見誠，大川洋二，羽根靖之，原木真名，向田隆通，木下博子，堀込聖子，池田光江，宮崎豊，帆足暁子．全国病児保育協議会認定病児保育専門士制度の確立-病児保育の質の向上を目指して．外来小児科 16(4):578-578, 2013.
2. 石野晶子，加藤英世，松田博雄，場家美沙紀．病児保育を利用する保護者のニーズとワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)．小児保健研究 72(2): 305-310, 2013.

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

歯科医師臨床研修修了者調査票

本調査は、歯科医師臨床研修を修了したすべての歯科医師の、臨床研修及び進路に対するお考えを把握し、政策に反映させるため、厚生労働省が実施する調査です。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い致します。なお、収集した情報につきましては、個人に関する情報は調査以外の目的には使用されません。また、回答いただいた内容は厚生労働省が取りまとめ、結果の概要については公表する予定です。

【調査記入要領】

(1) ご回答いただく設問について

本調査は、平成 23 年 3 月末までに歯科医師臨床研修を修了するすべての歯科医師を対象としていますので、平成 23 年 3 月末までに歯科医師臨床研修を修了する方のみ、本調査票に回答を記入してください。

(2) 調査票の提出について

歯科医師臨床研修修了登録証交付申請書を各地方厚生局へ提出する際、封筒に同封し提出してください。

(3) 問い合わせについて

本調査票への記入、提出方法等でご不明な点がございましたら、関東信越厚生局健康福祉部医事課 (Tel. 048-740-0200) までご連絡下さい。

-----調査票回答欄ここから-----

調査票回答日：平成 年 月 日

歯科医籍番号	性別	氏名	婚姻	子の数	生年月日
	男・女		未婚・既婚	人	西暦 年 月 日

研修先施設名	研修機関属性	研修プログラム番号
	単独型・管理型	

研修期間	中断の有無	中断期間
平成 年 月 日～ 平成 年 月 日	有・無	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日

1 年間で実際に治療をした 延べ患者数(見学は含みません)
名

問1 あなたが卒業した大学(歯学部)はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|-----------|
| 01 北海道大学 | 02 北海道医療大学 | 03 岩手医科大学 | 04 東北大学 |
| 05 奥羽大学 | 06 明海大学 | 07 東京歯科大学 | 08 日本大学 |
| 09 日本大学松戸歯学部 | 10 日本歯科大学 | 11 東京医科歯科大学 | 12 昭和大学 |
| 13 鶴見大学 | 14 神奈川歯科大学 | 15 新潟大学 | 16 松本歯科大学 |
| 17 日本歯科大学新潟 | 18 朝日大学 | 19 愛知学院大学 | 20 大阪大学 |
| 21 大阪歯科大学 | 22 岡山大学 | 23 広島大学 | 24 徳島大学 |
| 25 九州歯科大学 | 26 九州大学 | 27 福岡歯科大学 | 28 長崎大学 |
| 29 鹿児島大学 | 30 認定および予備試験 | | |

問2 現在、あなたの実家が所在する都道府県はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 海外・その他 |

問3 あなたが高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い都道府県(出身地)はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 海外・その他 |

問4 あなたが卒業した高校等が所在する都道府県はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 海外・その他 |

問5 あなたが臨床研修を行った単独型または管理型臨床研修施設が所在する都道府県はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 海外・その他 |

問6 あなたが臨床研修を行った単独型または管理型臨床研修施設の種別はどれですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|----------------|------------------|---------|----------|
| 01 卒業した大学の大学病院 | 02 卒業した大学以外の大学病院 | 03 病院歯科 | 04 歯科診療所 |
|----------------|------------------|---------|----------|

問7 あなたが臨床研修を行った施設を選んだ理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|
| 01 臨床研修のプログラムが充実 | 02 臨床研修の理念に賛同 | 03 臨床研修終了後の研修が充実 |
| 04 大学院博士課程のプログラムが充実 | 05 他病院とのネットワーク・連携が豊富 | 06 臨床研修後の進路が有利 |
| 07 臨床研修後の進路が比較的自由 | 08 様々な施設を経験したい | 09 指導体制が充実 |
| 10 熱心な指導歯科医が在職 | 11 著名ないし業績のある歯科医師がいる | 12 施設の設備が充実 |
| 13 処遇・待遇(給与)が良い | 14 多くの症例を経験できる | 15 高度な技術や知識を習得できる |
| 16 プライマリ・ケアに関する能力を習得できる | 17 様々な部門でバランス良い経験を積める | 18 Web やパンフレットの情報が充実 |
| 19 伝統や実績がある | 20 優れた研修歯科医が集まってくる | 21 先輩等の評判が良い |
| 22 実家に近い | 23 学生時代の住居に近い | 24 大都市圏である |
| 25 交通の便がよい | 26 雑用が少ない | 27 出身大学である |
| 28 友人や恋人、先輩が在職している | 29 奨学金をもらっていた | 30 特になし |
| 31 その他() | | |

問8 あなたが経験した臨床研修を振り返って、全体としての満足度について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|
| 01 満足していない | 02 やや満足していない | 03 どちらでもない | 04 やや満足している | 05 満足している |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|

問9-1 あなたが臨床研修を行った施設の研修体制等の満足度について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|
| 01 満足していない | 02 やや満足していない | 03 どちらでもない | 04 やや満足している | 05 満足している |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|

問9-2 臨床研修を行った施設の研修体制等の満足している点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|
| 01 職場の雰囲気が良い | 02 必要な症例・手技の経験が十分 | 03 指導医の指導が熱心 |
| 04 コ・メディカルスタッフとの連携が良好 | 05 待遇・処遇が良い | 06 第一志望の施設である |
| 07 雑用が少ない | 08 相談体制が十分整っている | 09 受け入れ体制が十分整っている |
| 10 教育資源(図書等)が十分 | 11 同期の研修歯科医がいる | 12 同期の医科研修医がいる |
| 13 満足している点はない | 14 その他() | |

問 9-3 臨床研修を行った施設の研修体制等の不満な点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|--------------------|--------------------|
| 01 職場の雰囲気が良くない | 02 必要な症例・手技の経験が不十分 | 03 指導医の指導が熱心でない |
| 04 コ・メディカルスタッフとの連携が不良 | 05 待遇・処遇が良くない | 06 第一志望の施設でない |
| 07 雑用が多い | 08 相談体制が十分整っていない | 09 受け入れ体制が十分整っていない |
| 10 教育資源(図書等)が不十分 | 11 同期が少ない | 12 不満な点はない |
| 13 その他() | | |

問 10-1 あなたが参加した臨床研修プログラムの満足度について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|
| 01 満足していない | 02 やや満足していない | 03 どちらでもない | 04 やや満足している | 05 満足している |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|

問 10-2 参加した臨床研修プログラムの満足な点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| 01 プライマリ・ケアに関する能力を習得できる | 02 全人的医療を学ぶことができる | 03 技術の向上を図ることが出来る |
| 04 診断能力が向上する | 05 生涯研修の習慣が身につく | 06 期待した通りの内容である |
| 07 満足な点はない | 08 その他() | |

問 10-3 参加した臨床研修プログラムの不満な点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 01 思っていたより楽すぎる | 02 思っていたより厳しすぎる | 03 専門に特化しすぎている |
| 04 設定された期間が短すぎる | 05 設定された期間が長すぎる | 06 不満な点はない |
| 07 その他() | | |

問 11-1 あなたが研修を受けている施設の処遇・待遇の満足度について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|
| 01 満足していない | 02 やや満足していない | 03 どちらでもない | 04 やや満足している | 05 満足している |
|------------|--------------|------------|-------------|-----------|

問 11-2 研修を受けている施設の処遇・待遇の満足している点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 01 給料・手当が良い | 02 研修歯科医用の部屋がある | 03 住宅環境が良い |
| 04 学会や研究会に行きやすい | 05 IT 環境が良い | 06 休暇が充実している |
| 07 満足している点はない | 08 その他() | |

問 11-3 研修を受けている施設の処遇・待遇の不満な点について、次の中からあてはまるすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 01 給料・手当が安い | 02 研修歯科医用の部屋がない | 03 住宅環境が良くない |
| 04 学会や研究会に行きにくい | 05 IT 環境が悪い | 06 休暇が取りづらい |
| 07 勤務時間が長い | 08 不満な点はない | |
| 09 その他() | | |

問 12 あなたが体験した入院もしくは外来患者に対する全身管理および在宅歯科診療に関する研修について、次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|-------------------|
| 01 入院患者の治療を行った | 02 入院患者の口腔ケアを行った | 03 入院患者の治療を見学した |
| 04 全身麻酔下の治療を見学した | 05 静脈鎮静下の治療を見学した | 06 モニタ管理下の治療を見学した |
| 07 在宅にて治療を行った | 08 在宅にて口腔ケアを行った | 09 在宅にて治療を見学した |
| 10 体験していない | 11 その他() | |

問 13 あなたが参加したチーム医療について、次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。
なお、チーム医療とは、歯科医療職以外の医療職とも連携して行う医療のことを示しています。

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|-------------|
| 01 栄養サポートチーム | 02 感染制御チーム | 03 緩和ケアチーム | 04 口腔ケアチーム |
| 05 呼吸サポートチーム | 06 摂食・嚥下チーム | 07 褥瘡対策チーム | 08 周術期管理チーム |
| 09 参加していない | 10 その他() | | |

問 14 あなたが参加したチーム医療で連携した職種について、次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。
なお、チーム医療とは、歯科医療職以外の医療職とも連携して行う医療のことを示しています。

- | | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|----------|
| 01 医師 | 02 薬剤師 | 03 看護師 | 04 作業療法士 | 05 理学療法士 |
| 06 診療放射線技師 | 07 臨床検査技師 | 08 臨床工学技士 | 09 言語聴覚士 | 10 歯科衛生士 |
| 11 管理栄養士 | 12 社会福祉士 | 13 参加していない | 14 その他() | |

問 15 臨床研修の到達目標に関して、どれくらい達成されたと思いますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|----------------|-------------------|---------------|-------------|
| 01 達成されなかったと思う | 02 あまり達成されなかったと思う | 03 ほぼ達成されたと思う | 04 達成されたと思う |
| 05 わからない | 06 その他() | | |

問 16 到達目標を達成するために必要な項目について、次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------------|--------------|-----------------|
| 01 本人の努力 | 02 指導歯科医の能力 | 03 手技の実践 | 04 十分な症例数 |
| 05 雑用を減らす | 06 コ・メディカルの協力 | 07 研修期間を長くする | 08 十分な教育資源(図書等) |
| 09 その他() | | | |

問 17 臨床研修後の勤務先をどのように決めましたか。次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 01 情報を集めて自分で探した | 02 研修を受けている施設から紹介してもらった |
| 03 出身大学から紹介してもらった | 04 研修を受けている施設、出身大学以外から紹介してもらった |
| 05 まだ決まっていない | 06 その他() |

問 18 臨床研修修了後の勤務先が所在する都道府県はどこですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | 48 海外・その他 |

問 19 臨床研修修了後の勤務先の施設の種別はどれですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------------|
| 01 卒業した大学の大学病院 | 02 卒業した大学以外の大学病院 | 03 大学病院以外の病院 |
| 04 歯科診療所 | 05 自身で歯科診療所開設 | 06 臨床医以外(基礎系研究者、行政機関) |
| 07 大学院進学 | 08 その他() | |

問 20 臨床研修修了後の勤務先の施設を選んだ理由で、次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-----------------------|-------------------|
| 01 研修修了後の研修プログラムが充実 | 02 優れた指導者がいる | 03 病院の施設・設備が充実 |
| 04 臨床研修を受けた病院である | 05 国公立の病院である | 06 出身大学である |
| 07 平日に研究日がとれる | 08 勤務時間外に呼び出されることが少ない | 09 労働時間に比べて給与が高い |
| 10 労働時間が長いがその分給与が高い | 11 超過勤務手当がきちんと支払われる | 12 福利厚生が充実している |
| 13 臨床研究が優れている | 14 専門医・認定医取得につながる | 15 博士号がとれる |
| 16 へき地医療への情熱 | 17 出産・育児休暇が取りやすい | 18 出産・育児休暇後に復帰が容易 |
| 19 出身地である | 20 実家に近い | 21 大都市圏である |
| 22 配偶者の居住地・勤務地である | 23 子供の教育を考えた | 24 家族・恋人の希望 |
| 25 先輩等からの紹介 | 26 大学からの派遣 | 27 特に理由はない |
| 28 その他() | | |

問 21 あなたは子供が生まれて乳幼児期の間、育児休暇を取ることにどのようにお考えですか。
次の中からあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|----------------|-------------|
| 01 仕事への復帰等の条件が合えば取りたい | 02 取りたい(01 以外) | 03 取らなくてもよい |
| 04 わからない | 05 その他() | |

問 22 あなたは子どもが乳幼児期の間、子育てをしながら勤務を続ける上で、勤務先にもっとも設置してほしいものはどれですか。
次の中からあてはまると思われるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---------------|----------------|
| 01 短時間勤務制度 | 02 フレックスタイム制度 | 03 勤務先に託児施設がある |
| 04 子どもの急病時に休暇が取りやすい | 05 その他() | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

歯科医師臨床研修修了者調査票

本調査は、歯科医師臨床研修を修了したすべての歯科医師の、臨床研修及び進路に対するお考えを把握し、政策に反映させるため、厚生労働省が実施する調査です。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い致します。なお、収集した情報につきましては、個人に関する情報は調査以外の目的には使用されません。また、回答いただいた内容は厚生労働省が取りまとめ、結果の概要については公表する予定です。

【調査記入要領】

(1) ご回答いただく設問について

本調査は、平成24年3月末までに歯科医師臨床研修を修了するすべての歯科医師を対象としていますので、平成24年3月末までに歯科医師臨床研修を修了する方のみ、本調査票に回答を記入してください。

※中断した場合は、最も長く研修を行った施設・プログラムについて記入してください。

(2) 回答用紙の提出について

歯科医師臨床研修修了登録証交付申請書を各地方厚生局へ提出する際、封筒に同封し提出してください。

(3) 問い合わせについて

本調査票への記入、提出方法等でご不明な点がございましたら、厚生労働省関東信越厚生局健康福祉部医事課(TEL:048-740-0200)までご連絡下さい。

-----質問票回答欄ここから-----

質問票回答日：平成 年 月 日

歯科医籍番号	性別	氏名	婚姻	子の数	生年月日
	男・女		未婚・既婚	人	西暦 年 月 日

修了した臨床研修に係る研修プログラムの番号及び名称	プログラム番号					研修プログラムの名称	研修機関の属性
							単独型・管理型

協力型施設数(3カ月以上研修を行った施設数)	協力型施設で研修を行った期間(合計)	中断の有無
施設	ヶ月	有・無

実際に治療をした1日あたりの患者数の平均(見学は含みません)	単独型・管理型施設	約	名 / 日
	協力型施設	約	名 / 日